
穹の戦乙女-ソラノヴァルキュリア-

朔夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

穹の戦乙女 - ソラノヴァルキュリア -

【Nコード】

N9470Z

【作者名】

朔夜

【あらすじ】

大学3年の俺は毎日平凡な日々を過ごしていた。
非日常的な毎日を夢見て…

学校に行けば入っているラブレター。ハーレムを夢見る俺にとっては一見嬉しそうに見えるだろうがそれは女性ではなく、男性からの物。女性からも同性と見られ告白しても玉砕する日々。
だがその日の手紙は違っていた。

- アナタはソコにいますか? -

そんな言葉で始まった俺の異次元世界冒険記だ。

異次元世界冒険記

大学3年の俺は毎日平凡な毎を送っていた。

親父はイギリスとフランスのハーフ、母は日本人の息子の俺はクウォーターなのだろう。

身長175cm、黒髪長髪、緑と茶色の瞳。母に言われて武道は一通りかじった。(何故その中にお茶や舞踊等が入ってたのかは今でも疑問だ)

今日も朝起きるといつもと変わらず長い髪を赤いリボンで結うと学校に足を運んだ。

俺の進んだ大学は家から一番近くの国立大で有名な教授が何人もいる。

まあ俺には関係ないのだが。

この様な人間が俺、櫻井憂^{さくらいゆう}だ。

「憂姫おはよー」

「誰が憂姫だ…おはよう」

校門を潜るといつものように女子がからかってくる。

下駄箱に行くとは時ものように数枚のラブレター。残念なのが女性からの手紙が一枚のないことだろうか。

今日も期待はしてないもの一枚一枚確認していく。すると変手紙が一枚紛れ込んでいた。

- アナタはソコにいますか -

ただ一文真ん中に書かれた変な紙。

当たり前な事を聴く、俺はここに居るって心で呟くといきなり襲ってくる睡魔。

なっ、なんなんだよ……と顔を降り睡魔を飛ばそうとするも地面に倒れそのまま憂はその世界から姿を消した。

異世界？現実？

倒れた俺はそのまま目を覚ました。

頭が痛い…俺は頭を押さえながら階段を上がっていく。

赤い髪の女性が横を通り過ぎていく。

・・・ん？ちよつと待て、うちの学校って髪を染めるの校則違反じゃなかったか？

俺は急いで振り返るとそこには青い髪、緑の髪、赤い髪 ext…
何処だここ…そんな考えが脳内を駆けめぐる。

「おはようございます生徒会長。」

いきなり肩を叩かれ振り向く俺。そこに居たのは後輩の相坂真矢、いや正確には違う相坂はこのような金色に染めた髪ではないのだから。

「おまえ相坂か？それに生徒会長って誰のことだ？」

「そうですよ？生徒会のマスコット真矢ですよ？生徒会長は憂先輩に決まってるじゃないですか」

変な先輩つと笑いながら話す相坂。

こいつは相坂で間違いないようだ。しかしこの髪は何なんだ？

あたりを見渡すといきなり学校中いや、町中で奇妙なアラームが鳴り響く。

「先輩、行きますよ！」

いきなり相坂が俺の手を握り自販機の前まで走って行く。

胸ポケットから一枚のカードを取り出すと自販機にスキャンする。すると自販機が回転し自販機の下からエレベーターと思われる機械が現れる。

「なんなんだよ、ココは…」

エレベーターに乗り降りるとそこには壁一面に広がる武器。目の前には大きな画面がありそこに映し出されているのは大きな獣であった。

「ここはセントガーデンよ。いらっしやい、平行世界の住人さん」

声がる方に振り向くと腰まで伸びる黒く長い髪の少女。黒いゴスロリの服に身を包まれているためか不思議な空気を纏っている少女に声を失うがはっと持ち直す。

「先輩何やってるのですか？出撃するのですよ！」

いつの間にか相坂はスナイパーライフルを片手にバイクに跨がっていた。

「平行世界…異世界…」

そう呟き再び少女の方に振り向くも少女の姿はない。俺は相坂と同じように武器を持たないといけない気がした。目の前にかかっている刀を手にとり相坂の後ろに乗る。

目の前のハッチが開くと目の前には溪谷があった。遠くにいるはずなのにこの場所からでもわかる先ほどの画面に映し出されていた獣。

バイクが発信し俺はこれからどうなるのだっという風に考えていた。

異世界？現実？（後書き）

処女作ですので宜しければ皆様のご意見お聞きしたいです。

宜しくお願いいたします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9470z/>

穹の戦乙女-ソラノヴァルキュリア-

2012年1月14日04時55分発行